

第10号

2016年
10月14日



Safety Mail

● 滋賀県警察本部交通企画課 ●

県内の交通事故発生状況

《平成28年9月末現在の人身事故》

	件数	死者	傷者
本年	3,842	42	4,809
前年	4,303	56	5,591
増減	-461	-14	-782

〈高齢者の事故〉

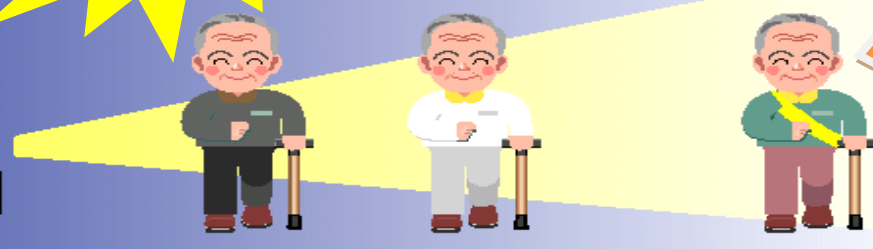
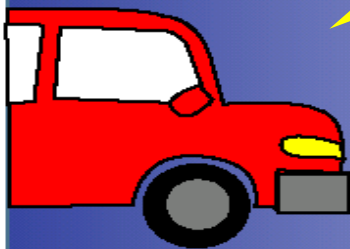
※高齢者…65歳以上をいう



	件数	死者	傷者
本年	1,060	20	622
前年	1,092	26	718
増減	-32	-6	-96

県内の交通事故は、前年と比べると発生件数、死傷者数ともに減少しています。
 例年、秋から冬の夕暮れ時や夜間は、歩行者や自転車利用者が被害に遭う交通事故が多く発生します。車からも、また、歩行者などからもお互いが見えにくいことを認識し、安全確認を徹底しましょう。

夕暮れ時は、危険！ 車は急に止まれない！



ドライバーに早く見つけてもらうことが大切！

車から、歩行者や自転車を発見できる距離

黒っぽい服 約20m

白っぽい服 約40m

反射材使用 約100m~120m

時速50km

10

15

60km

13

20

80km

17

36

100km

21

56

約25メートル

約33メートル

約53メートル

約77メートル

歩行者などを発見してから車が停止するまでの距離

空走距離…危険を感じてからブレーキをかけるまでに走る距離

制動距離…ブレーキが利き始めてから、車が止まるまでの距離

夕暮れ時や夜間は、ものの形や色が見えにくくなり、歩行者や自転車を見落としがちになります。車は急には止まれません。速度を落とし、余裕を持った運転を心がけましょう。

前照灯早めの点灯『夕方早め点灯4時からライト』



危険な情報をいち早く見つけましょう！

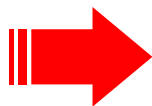
車のライトを早めに点灯させて、周囲の危険をいち早く見つけるように努めましょう。
夜光反射材はライトが当たらないと光りません。
歩行者などをいち早く発見するため、また、歩行者などに車の接近を知らせるためにも、早めにライトを点灯し、車の存在をアピールしましょう。

前照灯『ハイビーム』こまめに切り替え！

こまめにロービームとハイビームの切り替えをして

『隠れた危険』を見つけてみましょう。

夜間における対歩行者・自転車事故を防止するには、どれだけ早く相手を発見することができるかが重要です。前照灯をこまめにハイビームに切り替えることで、いち早く歩行者や自転車を発見しましょう。また、運転時は、緊張感を持って交通事故防止に努めましょう。



※ 対向車がある時、前に車がある時などは、前照灯を下向き(ロービーム)にしましょう。



横断歩道は、歩行者が優先です！

横断歩道を横断する人は、「車のドライバーさんが自分を見つけて止まってくれるはず…」と期待して待っています。

横断歩道では、車は必ず止まりましょう。

また、横断歩道を横断する時は、「車は止まってくれるだろう。」と安易に判断せず、車が停止したことを確認した後、再度、安全確認してから横断しましょう。

事業所内に掲示するなど、多くの方々にご覧いただけるようご協力ください。

TEL 077-522-1231 (代表) Eメール x0022@police.pref.shiga.jp